

教科	科目	学年	単位数
地理歴史	世界史演習	3年	2
使用教科書		副教材	
『新詳世界史探究』（帝国書院）		『図説 世界史詳覧』（浜島書店）	

## 1. 学習到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 2. 評価

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
世界史探究で学んだ知識を運用し、地域の特色や同時代のつながりを理解するとともに、諸資料からそれらを導く技能を身につけている。	世界史探究で学んだことに基づいて時期や年代推移、相互の関連や現代社会とのつながりを多面的・多角的に考察し、説明する力を身につけている。	世界史探究で学んだことに基づいて世界史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について主体的に探究する姿勢、よりよい社会の実現を視野に現代の課題を主体的に探究する姿勢を身につけている。

・年3回の定期テストでは、出題範囲に関する「知識・理解」「思考・判断・表現」の状況を評価します。

## 3. 学習内容（右ページ参照）

## 4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

- ・「世界史探究」の学習によって身に付けた知識・能力を基に、問題演習を行い、入試に対応できる能力を養う。
- ・諸資料を基に考えるスキルを身に付けることを重視する。
- ・状況に応じて模試や定期試験対策なども行う。

学期	月	試験	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
1 学 期	4		《入試問題演習および復習》 東アジアの文明	各時代について基本的な知識が身についている。
	5		南アジア、東南アジアの文明	史資料を読み解き、歴史事象と結びつけることができる。
			古代オリエントの文明	大学入試に必要な思考力と表現力が身についている。
			ギリシア・ローマ	
	6		ヨーロッパ中世	
			イスラーム文明	
			宋・元・明・清	
7	《定期試験》	オスマン帝国、ムガル帝国		
2 学 期	8		ルネサンス～絶対王政	各時代について基本的な知識が身についている。
	9		産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命	史資料を読み解き、歴史事象と結びつけることができる。
			19世紀ヨーロッパ	大学入試に必要な思考力と表現力が身についている。
	10	《中間試験》	19世紀アジア	
	11		2つの世界大戦	
	12	《期末試験》	戦後の世界	
3 学 期	1	共通テスト・私立大学入試対策		総合的に問題演習を行う。